拠出金・基金
の名称

東アジア酸性雨モニタリングネットワーク拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連環境計画アジア太平洋地域事務所 (UNEP ROAP)

【所管官庁担当局課・室名】環境省水・大気環境局大気環境課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

- ・東アジアにおける酸性雨問題の状況に関する共通理解を形成する。
- ・酸性雨による環境への悪影響を防ぐため、国や地域レベルでの政策決定に有益な情報を提供する。
- ・参加国間での酸性雨問題に関する協力を推進する。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	27,387	249		1米ドル=110円	0
平成28年度	37,464	312		1米ドル=120円	0
平成27年度	26,594	242		1米ドル= 110円	0

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

東アジア地域における酸性雨の実態を共通の手法によって把握し、国際協力に基づく今後の対策に結びつけていくことを目的として、我が国の提唱により2001年1月からEANETが本格稼働しているところ。我が国は、本ネットワークの立ち上げにおいて中心的な役割を担ってきたことから、その活動に対して財政的にも技術的にも積極的な貢献を行っており、当該ネットワークの活動内容や予算の用途に関する議論を主導している。

本ネットワークは、13か国が参加するEANET政府間会合等において、東アジア地域の酸性雨の状況の解明や東アジア諸国における大気環境管理能力の向上等に貢献していると評価されている。

【備考】